

沖縄の文化と宝

絃線 独特の三味線

三線(さんしん)は、沖縄県の撥弦(はつげん)楽器です。本土では、蛇皮線(じゃびせん)と呼ばれています。形は三味線に似ていますが、やや小さく全長75〜80センチ。ニシキヘビの皮を用い、棹(そう)の全面に漆を塗ってあります。撥(パチ)を用いず、義甲(ぎこう)が琴爪(ことづめ)に似たもの(で)弾きます。

中国の三弦(さんしん)が14世紀末に伝えられたもので、16世紀初めに、名手赤犬子(あかいぬこ)によって琉球歌曲の伴奏に使われました。三線の演奏は、琉球王朝の宮廷音楽から発達した「琉球古典音楽」と、庶民の間に歌い継がれてきた「沖縄民謡」「奄美群島の島唄」に大きく分けられます。

お墓 防空壕にも

よく見かけるのが、コンクリート製の大きな墓です。「門中」と呼ばれる

同じ先祖を持つ父方の血縁集団の共同墓地のため、墓が大きいのです。その大きさをゆえに、沖縄戦では防空壕として、使われました。様々な形がありますが、多くは家型の破風(やぶかぜ)と亀の甲(かまがら)のよう曲線を描く形の亀甲墓(かまがら)があります。クーパーカ(クーパーカ)があります。どちらも広い前庭がありますが、その庭では、毎年4月上旬に清明祭(しーみー)と呼ばれる墓参りの日があり、それが終わると、墓前で歌を歌ったり、持ち寄った食事を食べたりします。

前庭は女性が仰向けに寝そべっている様子を表したもので、納骨堂の入り口は産道を示している、死ぬと産道を通り母体に帰っていくという意味があります。

交通 バスが主役

沖縄県では、バスが公共交通機関の主役です。鉄道は一本もありません。

バスだけが陸上の公共交通機関だった沖縄県を大きく変える画期的な乗り物ができました。2003(平成15)年に新たな交通手段として、モノレールが開通しました。

亀甲墓 海岸線に大小、形もさまざまな墓が連なる与那国島の浦野墓地群(沖縄タイムス提供)



中村家 赤瓦の古い家屋の形態を伝える。中村家は国指定重要文化財。(沖縄タイムス提供)

那覇空港駅から県庁前を通って首里駅までの、12・9キロメートルをつなぐモノレール「ゆいレール」です。沖縄県では唯一のレールの上を走る交通機関です。バスなら1時間近くかかる区間を約27分で走り、1度に165人を運びます。

伊良部島の小学校の先生の中には、宮古島から出ている船で通勤している人もいます。

家屋 独特の赤瓦

屋根は赤い瓦が沖縄県独特の伝統的なもので、明治時代に中国から伝わったと言われています。

瓦を屋根にふくときはまず粘土を厚くぬり、その上にしっかり固定します。瓦と瓦のつなぎめには、漆喰をこねあわせて固めます。かわらが台風

の風に飛ばされないための知恵だそうです。

沖縄県では、昔から水を確保するのが難しく、外に置いてあるタンクに雨水をためて使っていました。最近では鉄筋コンクリートの住宅の屋上に丸い貯水タンクが設置されています。

建物の門や、民家の屋根の前面中央、村落の高台などには、悪霊を追い払う魔除けとして、伝説の獣の像「シーサー」が置かれています。「獅子(しし)」を沖縄県の方言で発音したものです。

古代オリエントのライオン又は犬だと言われています。材質は基本的に石や陶器、漆喰によるものですが、最近ではコンクリートや青銅製のものもあります。

チンスコウの作り方

チンスコウは中国風の焼き菓子で貴族の間で親しまれていました。お土産に様々な種類のチンスコウが店頭に並んでいます。



みなさんはチンスコウを知っていますか？チンスコウは沖縄の伝統的なお菓子で、よくお土産などで見かけます。伊波敏男さんの奥さん繁子さんに教えていただきました。チンスコウはとっても簡単にできます。材料もスーパードなどで簡単に手に入ります。ぜひ作ってみてはいかがでしょうか？

材料(20個分の目安)
上白糖(黒糖でも可)60グラム
ラード 60グラム 小麦粉 148g

用意する道具
ボール 1個 ふるい1個 タッパー1個
オープン1機 キッチンペーパー約10枚
キッチンラップ1m 計量カップ1個

作り方
ふるった小麦粉と、ほぐした上白糖をボールに入れ、手でよく混ぜる。
分量のラードを に入れ、小麦粉をラードにふりかけようようにして指先でまぜ、ラードが小麦粉全体にいきわたってしっとり感がでるまで混ぜる。
手で楕円形に形成して、タッパーに入れ、押し固めてから縦7cm 横2cm 厚さ1cm カットして形成する。
150度のオープンで20~25分焼いたら完成。

チンスコウ1個あたりの栄養
エネルギー66キロカロリー
たんぱく質1.5グラム 脂質2.9グラム
指導：伊波繁子さん

身体で感じる 美ら海

日本でマリンスポーツと言えは最初にイメージするのは沖縄県です。マリンスポーツには、海上を水しぶきを受けながら軽快に走るウエイクボードやジェットスキーがあります。最近では、カヌーを使った沿岸めぐりも人気です。またサーフィ

ンや、サーフボードにリクという大きなバーツを取り付け、風を使い進むウインドサーフィンもあります。スピード感は凄く標準では時速30~40キロほどですが、最高で80キロ以上が出るスポーツです。

海中のスポーツではダイビングがあり、海の美しさをより体感できます。赤、黄、青など多色多色のウミウシや、あ

ゆる色の大きささまざまな種類のサンゴ礁、イカやカニ、ハギやフグやタイなど数え切れないほどの魚が、群れや個々で生活しています。

深く潜って海面を見上げると、太陽の光がキラキラと光り輝き、すぐそこには魚が泳ぎ、360度すべての光景に思わず息をのみます。

【クマノミ城】キャンプ・シュワブに隣接する大浦湾の通称「クマノミ城」。ヘリ基地建設の埋め立てによる影響が懸念される。(沖縄タイムス提供)



消えゆく 生命

ジュゴン(ジュゴン)は国の特別天然記念物に指定されている絶滅危惧種の動物です。色は白く、成獣になると体長は3メートル、体重は400キロほどになり海草を食べて生活しています。以前は世界に

多くのジュゴンが生息していましたが、今では海の汚染や埋め立て、海流の変化による海草の減少や、それによる生態系の変化により絶滅危惧種となつてしまいました。

このジュゴンに大きな影響を与える海流の流れ

の変化を引き起こす、米軍基地の設立のための埋め立て作業が今も行われています。(2面参照)

かつて沖縄本島の周囲は美しい海でしたが、次第に減り、現在は米軍基地から遠い離島などの海に



【青の洞窟】幻想的なブルーに包まれるダイビングスポット = 恩納村の真栄田岬(沖縄タイムス提供)